

## 次世代みらい会議 不二聖心女子学院

まちづくりにあたっては、子どもたちがずっと住み続けたいと思えるまち、一度は外に出てもやっぱり戻ってきたいと思えるまち、将来への希望が持てるまちを目指すことが大切なことの一つです。しかし、平成 27 年度に策定した市まち・ひと・しごと創生総合戦略の議論の中で、若者世代からも親世代からも、進学後、当市に戻って働く場がないという意見が出ています。

そこで、市内高校生を対象に若者世代向けの出張みらい会議、題して「次世代みらい会議」を開催し、裾野市の未来像と、そのためにできることを考えました。

### 開催要領

- 日時:平成 28 年 9 月 7 日(水) 16:15～17:15(60 分)
- 会場:不二聖心女子学院
- 対象:生徒会・クラス委員 24 名



### 会議での問い

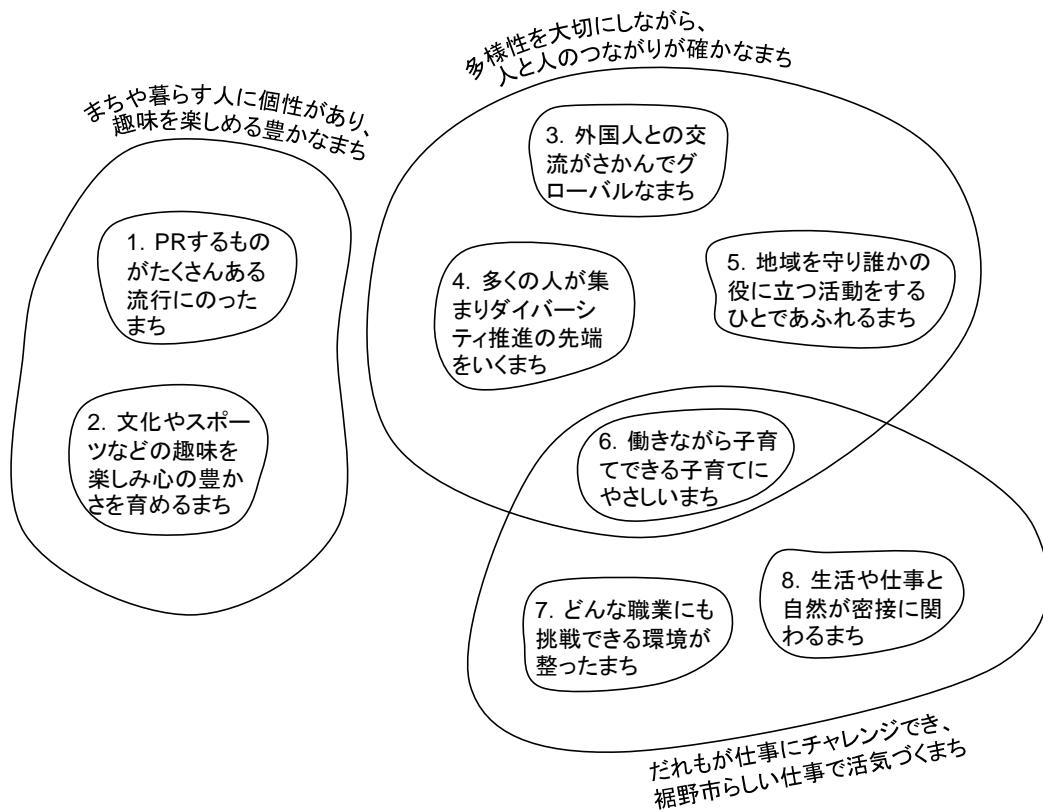
これから社会に出ていく高校生の視点で、どんなまちだったら自分が働き続けられるのか、そのために自分のまちにどうあって欲しいのかを考えました。

問い <わたしのまちの将来像>  
こんな仕事がしたいから、わたしのまちは、こんなまちであってほしい！



## 会議で考えた“まちの将来像”

会議では、自分たちがずっと住みたいと思えるまちの将来像を検討していきました。大きく 3 分野で、8 つのまちの将来像を描きました。その中には、全部で 23 の「〇〇な仕事がしたいから、〇〇なまちであってほしい」というアイデアが生まれました。



### 1. PR するものがたくさんある流行にのったまち

- 観光の仕事がしたいから、たくさんの推しがあるまちであってほしい
  - ・商品開発をする人として働く⇒グルメなまち
  - ・旅館で働く⇒観光に適したまち
  - ・ショップ定員として働く⇒商業施設があるまち、流行に敏感な若者を呼び込める新しいものがたくさんあるまち
  - ・三島コロッケとコラボしたい⇒近隣市町と連携のあるまち
- メディアとも連携した仕事がしたいから、流行にのったまちであってほしい
  - ・ミュージアムを作りたい⇒不二家と連携したまち
  - ・単体の野菜ではなく理も売り出すシェフとして働く⇒おいしいものが多いまち
- 時代の先端をいくような仕事

がしたいから、発展したまちであってほしい

- ・ 研究員としてはたらく⇒研究ができるまち、情報がたくさんあるまち

### 2. 文化やスポーツなどの趣味を楽しむ心の豊かさを育めるまち

- 趣味を活かせるような仕事がしたいから、日々の生活に潤いをもたらすようなまちであってほしい
  - ・スポーツに関係する仕事⇒運動ができる施設が多いまち
  - ・音楽を楽しめる仕事⇒幅広い世代で演奏ができるまち
- ゆったり余裕のもてるような仕事がしたいから、心のゆとりがもてるようなまちであってほしい
  - ・鳥とともに余裕をもって働いている⇒自然を活かした仕事ができる社会がたくさんあるまち
  - ・カフェで働いている⇒心のゆとり

があるまち、カフェに行く余裕もてる人たちが多くいるまち

- ・文化人として働く⇒文化が充実しているまち

### 3. 外国人との交流がさかんでグローバルなまち

- 国際的な仕事がしたいから、外国人との関わり海外の情報のあるまちであってほしい
  - ・外国人に家を貸す人として働く⇒外国人が住みやすいまち
  - ・国際的な視野を持って働く仕事⇒海外の情報と関わりのあるまち
- グローバルな仕事がしたいから、海外と繋がれるまちであってほしい
  - ・海外と繋がれる仕事⇒留学プログラムがあるまち、姉妹都市との交流がさかんなまち
- 国際的な仕事がしたいから、外国人が住みやすいまちであってほしい

- ・通訳として働いている⇒外国のお店が充実しているまち
- ・国際的な仕事⇒外国人がすみやすいやさしいまち、外国人が自分たちの宗教を尊重して生きていけるまち

#### 4. 多くの人が集まりダイバーシティ推進の先端をいくまち

- 人と関わる仕事がしたいから、ひとが集まるまちであってほしい
  - ・様々なイベントを支える仕事⇒様々な分野の人がいる活気あるまち
  - ・すそのの中身としてはたらく⇒愛されるまち
- たくさんのひとが幸せになれる仕事がしたいから、ひとが集まるまちであってほしい
  - ・たくさんの人を笑顔にする仕事⇒人がたくさん集まってみんな幸せなまち
  - ・飲食業で働く⇒じもの食材を使ったレストランがあるまち
  - ・公務員として働く⇒その土地の良さや食材のおいしさをインターネットで伝えられるまち
  - ・様々な世代の人と楽しく働く⇒世代を超えて人が集まるまち
  - ・観光業(まちについての展示、伝統と伝えるもの)⇒何か自慢できるものがあるまち
- 観光系の仕事がしたいから、人が集まるようなまちであってほしい
  - ・アピールするものを押す仕事をする⇒アピールするものがあるまち
  - ・観光業で働く⇒〇〇の散歩道みたいなものがあるまち
  - ・観光ガイドさんとして働いている⇒どの世代でも楽しめて、行きやすいところに観光スポットがあるまち

#### 5. 地域を守り誰かの役に立つ活動をするひとであふれるまち

- 都心と連携した仕事がしたいから、交通網が充実しているまちであってほしい
  - ・他の市や県などとも行き来している仕事⇒交通機関が充実しているまち
  - ・外国人などの観光のお手伝いや日本(裾野)の魅力を広められる仕事⇒交通網の充実と駅がきれいなまち

- ・三島からのバスの運転手の仕事⇒交通の便がよいまち

#### ● 人の役に立つ仕事がしたいから、公共福祉施設が整うまちであってほしい

- ・老人ホームで働く⇒お年寄りを大切にするまち
- ・病院で医師としてはたらく⇒安心して長期滞在できるまち
- 身近な人を守るような仕事がしたいから、安全で便利なまちであってほしい
  - ・塾の先生⇒帰りが遅くても夜安心なまち
  - ・警察官⇒警備が行き届いたまち
  - ・先生⇒電車で気軽にのれるまち、交通網が発達しているまち

#### 6. 働きながら子育てできる子育てにやさしいまち

##### ● 子どもとふれあう仕事がしたいから、教育施設がたくさんあるまちであってほしい

- ・スポーツ界の選手を裏方で支える人として働く⇒いろいろな分野の情報や学校などが豊富にあるまち
- ・先生として働く⇒〇〇教室がたくさんあって種類が豊富なまち、学校がたくさんあるまち、子どもがたくさんいるまち

##### ● 子どもを育てる人を支える仕事がしたいから、子育てにやさしいまちであってほしい

- ・母親の相談を聞く人として働く⇒子を持つ母にやさしいまち
- ・子どもとふれあえるような仕事がしたいから、子どもにやさしいまちであってほしい
- ・花や庭の手入れをして働く⇒外出したくなるまち
- ・公園やトイレを掃除する人⇒子供が外で気軽に遊べるまち
- ・保育士学校の先生として働いている⇒子供がたくさんいるまち
- ・子どもたちと働く⇒学校をふやす

##### ● 子どもと関わる仕事がしたいから、子どもが住みやすいまちであってほしい

- ・保育士⇒子供がたくさんいるまち
- ・動物園、水族館⇒家族の交流が深いまち

##### ● 子育てと両立しながら仕事がしたいから、子どもを育てやすいまちであってほしい

- ・都会に気軽に働きながら働く⇒

- 子育てと仕事が両立できるまち
- ・子どもを育てながらはたらく⇒女性に優しいまち、安全な食べ物にあふれているまち

#### 7. どんな職業にも挑戦できる環境が整ったまち

##### ● 年をとっても続けられるような仕事がしたいから、幅広い年代が住めるようなまちであってほしい

- ・OLとしてはたらく⇒企業からの支援で栄えるまち、お年寄りも働ける場所がたくさんあるまち
- ・先生として働く⇒子供がいるひとでも仕事ができるまち、保育園がたくさんあるまち

##### ● 人を助けられる仕事がしたいから、公共手当が手厚いまちであってほしい

- ・医療人としてはたらく⇒医療体験プログラムが多いまち
- ・消防士⇒医療施設が多いまち

##### ● 衣食住に関わるような仕事がしたいから、自然がきれいなまちであってほしい

- ・レストランで働いている⇒きれいな水があるまち
- ・農家として働く⇒自然豊かで自給自足なまち

##### ● 芸術的な仕事がしたいから、たくさんの人が楽しめるまちであってほしい

- ・写真家として働く⇒景色がきれいなまち
- ・音楽家、芸術家として働く⇒音楽、芸術であふれるまち
- ・スポーツトレーナーとして働く⇒スポーツが活発なまち
- ・料理人として働いている⇒おいしいものが食べられるまち

#### 8. 生活や仕事と自然が密接に関わるまち

##### ● 自然に関わる仕事がしたいから、裾野の自然をアピールできるまちであってほしい

- ・農家になる⇒地産地消できるまち
- ・環境問題について直接関われる仕事⇒自然の多いまち
- ・飼育員として働く⇒動物がたくさんいるまち
- ・自然を使ったアトラクションを提供するひと⇒自然を活用するまち